

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

第166回 例会報告 (3/23)

司会者 SAA 遠藤 二郎

◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 菊地 敏

◇お客様紹介 会長 横倉 舜三

北川 隆男様	(東京多摩RC)
古屋 誠児様	(")
由井 重光様	(")
伊藤 勝幸様	(")
篠塚 武雄様	(")
福井 孝様	(")

◆ 会務報告 会長 横倉 舜三

- 1) 東京多摩ロータリークラブの篠塚様から、創立25周年記念式典へのお誘いを受けましたが、親クラブの25周年をお祝いして出来る限り多くの会員の皆様のご参加をよろしくお願い申し上げます。
- 2) 稲城ロータリークラブの故新井好治(現幹事)の葬儀に対するお礼と後任幹事については現幹事代行の任にあった野村俊明会員に引続き任期まで幹事代行として、その任に当たっていただくことに決定したとの通知がありました。

3) 先週のクラブ・フォーラムでは意見発表された会員の皆さんご苦労様でした。今後それらの意見を尊重して運営に努めてまいります。

◆ 幹事報告 幹事 北村 幸彦

- 1) 例会臨時変更のお知らせ
東京飛火野ロータリークラブ
3月29日(火) → 夜間例会に振替
会場 浜寿司本店
4月19日(水) → 5周年記念式典に振替
4月18日(月)
会場 ホテルニューグランド八王子
5月3日(火) → 国民の祝日 休会
- 2) 地区大会写真展のお礼
東京日本橋ロータリークラブ
この度の国際ロータリー2750地区大会「ロータリー活動」写真展につきましては内外とも各方面の評判も上々だと伺っております。これも各クラブ皆様のなみなみならぬ協力とご支援の賜物と深く感謝申し上げる次第です。地区大会委員長 吉原 政雄
- 3) 訃報
宮本 誠会員の奥様のお母様(石井 千津子様) 伊藤 英也会員の奥様のお父様(杉山 広様)がご逝去なされました。ともに本日告別式とのことです。慎んで御冥福申し上げますとともにご報告申し上げます。

委員会報告

◆出席委員会 委員 足立 潤三郎

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本 日 報 告	53	40	4	7	84.62%
前 回 訂 正	53	42	5	4	90.38%

メイクアップ

橋口 洋三 (3/17 稲城)
中山 恒武 (3/23 新都心)
関岡 俊二 (3/18 新宿)
高野 範城 (3/22 西南)

欠席届出者

大松 誠二、小坂 一郎、松原 健、宮本 誠
城倉 正博、津守 弘範、伊藤 英也

欠席者 なし

★★★★★★★★★★

ニコニコ BOX 委員 村上 久

★★★★★★★★★★

篠塚武雄様 25周年の案内にきました
由井重光様 久し振りです
古屋誠児様 本日はお世話になります
風間 茂穂 タンジョウ祝に実物よりステキな似
顔絵とシャンペンを頂いて
遠藤 二郎 祝 萩生田マンション着工。
相続対策の成功を祈ります。大大大
ニコニコですよろしく
伊神 稔 お客様よろこそ
赤尾 恭雄 北京より東京の方が寒いですね
海野 栄一 春だというのに寒いですね
北村 幸彦 篠塚さん福井さんご苦勞様です
25周年記念の成功をお祈り申し上げ
ます
飯島 裕美 ありがたいことに私にも少しずつ春
が近づいているようです
若林 滋和 誕生祝ありがとうございました
佐伯 和廣 福井様卓話よろしくお願ひします
奥田 文夫 先週はお忙しい中を披露パーティー
においていただきありがとうございます
ました

合計 37,000円

◆ロータリー豆知識

ロータリー情報委員長 赤尾 恭雄

☆職業分類(II)

職業分類は、特定個人の占めている地位に
よってではなく、その事業活動もしくは社会的
に果たしている仕事によって定められるもので
ある。換言すれば、銀行頭取の場合、その職業
分類は、「銀行頭取」ではなく「銀行業」また
は「銀行経営」である。こういう様な解釈で職
業分類は定められている。

◆ベネファクター表彰(ロータリー財団)

\$\$\$ 赤尾 恭雄 殿 \$\$\$

◆ゴルフ同好会 幹事 伊神 稔

☆お花見ゴルフ大会も近づきましたが、お客様と
して、多摩、稲城各ロータリークラブからゲスト
の方が15名ご参加頂くことになり、当クラブ
と合わせて11組44名で2~3日以内に組み合わせを
お送りしたい。

☆第9回プロ・アマチャリティーGの出欠を今日お
帰りまでに必ずご報告ください。

☆4/18の7名の方、2750地区のニューカレドニア
の選手が決定していますが5/13(金)の多摩
C.C.の5クラブ親睦コンペがあります。スケ
ジュールを見て早めに私の方へお申し込みくだ
さい。

◆東京多摩RC創立25周年のご案内

多摩RC 篠塚 武雄様

日時：平成6年6月1日(登録 16:00)

会場：京王プラザホテル・エミネンスホール

記念講演には細川佳代子様を予定

質素に行いたいと思いますが、グリーンRCの
皆様には全員登録などということは不要に、くれ
ぐれも無理のない範囲で是非参加ください。

◆次年度IMの件

多摩RC 篠塚 武雄様

次年度のIMが11月14日に決まりました。私ど
も(多摩RC)がホストで、センチュリーハイアット
で行います。色々と人材が足りませんのでまたお
願ひにあがりますがご協力をお願い申し上げます。

クラブフォーラム
「ロータリーと私」 (3/16)
～私はロータリーとこう関わりたい～

《赤尾恭雄 会員》

予想以上に内容の充実したクラブフォーラムを無事終えることができ、会員一人ひとりがそれぞれの立場や環境の中で、ロータリーの思想を実践しておられることが示されました。会員一人ひとりが各自の個性を生かしながら、人生の下敷きをロータリー思想を踏まえながら構築することが、今後、ロータリーとの関わりを保つ上で重要かと考えます。

《遠藤二郎 会員》

本日の、趣旨は会員相互の忌憚のない意見交換と言う事ですので、正直に本音をお話させていただきます。私がこのクラブに入会させていただいて早いもので、もう3年半が経過しました。しかしながら、いまだに今日のテーマであるロータリーとこう関わりたいと言う確かな定見を持つに至っておりません。ロータリーはまず出席することから始まると言われます。申すまでもなく、それはその地域で、一業一人の会員制のクラブの会員に選ばれたことであり、例会に出席し、あらゆる職業のロータリアンと親睦をとうして見聞を広め、品位を磨き、奉仕の道を開く事が使命であり、特典であります。しかし、現実には仕事との兼ね合いでやむなく欠席しなければならない場合もあります。特に自クラブ100%出席はなかなか難しいものがあります。そこで私はメイクアップを含め90%位を目標にしております。また他クラブの例会に出席することも、ロータリアンとしての使命、特典の行使だと思っております。この努力目標の数値は、飽くまでも私個人のものであり、本年度私が担当させて頂いております出席委員会のものでないことをお断わりしておきます。またロータリーには奉仕活動の一つの方法として、ロータリー財団とか、米山奨学会だとか、各種の寄付がありますが、これについてもやはり気持としては出来る限り沢

山したいのですが、このような経済情勢の中、企業として、また個人としてもなかなか厳しいものがあります。しかし、人道的かつ教育的面から見てもその趣旨は良く理解できますし、個人の微力も結集することにより大きな奉仕活動が実現されるわけで、私としては、準フェロー、準米山だけは、毎年欠かさず実行しようと思います。余り無理をして続けられなくなるよりは、無理のない範囲で協力していこうと思います。次に職業奉仕からロータリーを考えますと、私の職業分類は、建設業でありますので地域社会との関わり合いは、数え上げれば切りがありません。一例を上げますと、高齢者や障害者に優しい設計であるとか、環境を損なわないデザインであるとか、環境重視の無公害な設備設計をするとか、施工に当っては、工事中の騒音を初め、発生する産業廃棄物による環境破壊問題もあります。これら全てにロータリーの職業宣言をてらし実践することも可能です。ご承知のとおりロータリーの職業宣言の一筋に「職業の品位を保ち自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ」と有ります。こちらの方は、先程申し上げた努力目標値ではなく、限りなく100%に近い努力を傾注していると自負しております。また、従業員、同業者、顧客、公衆等、職務上関係を持つ全ての人々に対し、等しく公正であるべし、との文言もあります。これらも、日々仕事をする上での努力目標としております。結論を申し上げますと、ロータリー運動に参加する意義については、各人様々な考えで望んでおられると思いますが、私は余り難しく考えず、無理をせず分相応な程度でと思っております。但し自分で出来る範囲で人道的奉仕と、事業においても高度な道徳水準を守り、あらゆる方法、あらゆる機会を通じて奉仕の実践に努めて参りたいと思っております。真のロータリアンになるには、まだまだ道程は遠いのですが、常に地域社会に奉仕すると言う心を忘れることなく、責務を果たして参りたいと思っております。

《飯島裕美 会員》

私が等クラブの一員として参加させて頂いてから約一年と数ヶ月がたちましたが、振り返ってみるに、当初お誘い頂いた時点ではロータリークラブなるものを全く理解しておりませんでした。では何故参加させて頂いたかと言えば、当地に事務所を移転したものの当地域の方々との接点は皆無に近い状態であり、このままではなんとなく淋しいと思っておりましたので、これで一時に多くの方々と知りあえるかなというような軽い気持ちで参加させて頂いたのが本音です。入会と同時に赤いタスキをかけさせられ、年度が変わって青いタスキになり親睦委員でクリスマスを担当させられインシエーションスピーチの後わけもわからないうちに卓話をさせられたり、田中会員からは勉強せよと本を贈呈していただいたり、生れてはじめてタクトなるものを振り回したりで、実はこれは大変な所へ来てしまったと思ったものです。とにかく分っていた事とはいえ一番大変なのは、週一回の例会出席です。ともかく現在こうして会員を続けている事は、それなりの向上を私自身あるいは周囲のものが認めているからだと思うのです。基本的なロータリー精神あるいはその理論と実態について、本当の所良く分っておりません。しかし、少なくとも親睦に関しては、確かな手応えを感じはじめておりますし、奉仕活動も私個人の考えとは別に広い関わりを持つ事ができたことも事実です。現在の私はクラブ内の活動を通して一つ一つ確認し考え、出来る範囲で実践していくしかないと思う所です。次期広報委員長としてまずはクラブ会員外の地域の方々との接触をはかりながら私自身と外部に対して、ロータリーの精神と活動の実態の認識を深めて行こうとしている所です。

《伊東 巖 会員》

当クラブへ入会させて頂き半年余りが経過しました。情報委員会の『豆知識』のファイルを片手に!とはなかなかいかず、偶に見開いて復習している昨今です。正直なところ、

未だ半数に近い人の顔と名前が一致せず、戸惑いを感じながらS・A・A委員会の任務をやっと果せるようになった次第です。奉仕活動に職業奉仕とありますが、当社の業務活動において道德水準の向上を念頭において、従業員、友人への誠実、忠実さを実践し、同業者、当社への出入りのメーカー、代理店及び協力業者に対し常に公正な立場で接するよう心掛けていますが、このことすら私個人または会社の営利に関わることになるとなかなか実行が難しいですね。いずれにしても、一日も早くロータリアンと呼ばれるよう、また、自分にその自覚ができるようメイクアップ及び地区大会等に進んで参加し、身を以って理解できるよう努めてゆくつもりです。日本にロータリークラブが誕生して七十年と知り、ロータリアンの品位、社会的な立場を考えるとクラブの重みと責任を感じないわけにはおられませんね。いずれにしてもロータリーのモットーとして『すべてのロータリアンが齊しく尊重し実践しなければならない!』の言葉を肝に命じ、一日も早くロータリアンとして名実共に皆さんの仲間入りができるよう、欠席をせぬよう心掛けて行くつもりですので、末永く、時には叱り、時にはやさしい言葉の一つもかけて頂けたらと願っています。『真のロータリアンになれるかどうか』乞ご期待!

《森田舞子 会員》

「四つのテスト」は易しい言葉で書かれています。日頃心がけるように思っておりますが、実行はなかなか難しく事務所に掛ける額を見ては反省ばかりしています。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平かどうか
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

簡単明瞭で、この言葉が好きです。

「例会出席は奉仕の一つである」・「あなたはロータリアンですか」と、RIのバース会長が「ロータリーの友」に書いておられるのを読み、「自分は例会出席はまあ合格・しか

しロータリアンとしてはどうだろうか」と自問自答しました。またバース会長はロータリーのバッヂをつけるとき、私達はこう言っていると確信しておられると書いてありました。

私を頼りにしてください。

私は信頼できる人間です。

私はいつでもお役に立てます。

私は受取るもの以上のものを差し出します。

例会に出席し、会費を払うだけではロータリアンでは無い。他人のために何かをする機会をいつでも受け入れようと考えている人達が………毎日ロータリーを実践している人達だと書いておられます。当クラブも4年目を迎えて今後は他人の人生の価値を増やす為、地域社会の役に立てる事をもっとした方が良いと思います。しかし、私達が良いと思った事でも、地域社会が望んで無い事を押しつけるのは間違いだと思います。このクラブは多摩市にあるので、何を多摩市及び多摩市民が必要としているのか探る必要もあると思います。次年度地域発展委員会も出来ますので、多摩の為私もわがクラブも全員で協力出来たらいいと思います。現在、萩生田会員・吉尾会員等が中心となり「視覚障害者とのゴルフ」をやっておられますが、とても素晴らしい事だと思っております。それが、ロータリアンなのではないでしょうか。「ロータリーの友」を読み、私自身は単なるロータリークラブのメンバーではないか、ただ出席し、親睦・ロータリーについての知識・活動の参加だけではいけないと反省し、努力しなければと思います。

《奥木博勝 会員》

「私はサラリーマンロータリアン」である。当社には5名の「ロータリアン」と4名の「ライオンマン」が居て、この2つのクラブに対して、当社の基本的なスタンスは、

- 1)「拠点長」は地域活動に積極的に参画する。
- 2)広範囲の知識を持つ他業界の状況(情報)を会得する為に多くの人と接する。

3)自動車販売店の「拠点長」を超越し自己研鑽に務める。

4)その為には“時間、費用、労力”の最大限の協力をする。

<但し下記の条件を守る事>

5)第1会議(毎月末に行われる合同所長会議)

6)事業計画説明会議(半年に1度)

<上記以外は例外を除いてはクラブ優先>となっている。

この様に変、理解有る恵まれた方針のバックアップの中で参加しています。故にクラブの活動は私の“仕事”と感じています。但し、絶対的に皆様と違う点は、私個人が入会条件(資産、知名度、経営者等…)を満たしている訳では無く、「サラリーマンロータリアン」で有る為、俗にゆう“欲”が無いので、角度を変えて見れば、気楽な人付き合いが出来るとも幸いです。サラリーマンの宿命でもある“転勤”にも会社は大変気配りをしてきています。入会2年目に転勤の内示がありました。創立間もない、多摩グリーンロータリークラブの中で充分活動するまで「ロータリアンは動かすな!」のトップの一声で多摩センター営業所には3.5年(通常拠点長は平均2.0~2.5年サイクル)在籍出来ました。平成5年1月の転勤も近隣の営業所で「そのままロータリーの活動に専念しなさい」と町田の移動となりました。私はロータリークラブの多くの人と接し、現在は、例会日を楽しみにしております。そして心より感謝していますが、転勤に伴う“別れ”が必ず来る事が寂しく残念の限りです。40才を過ぎてから出来た“友”は私の人生の財産となるでしょう。

《関岡俊二 会員》

私は昨年4月に入会させて頂きましたが、毎週水曜日開催の例会に出席することが大変むずかしく、7月8月は寺の仕事の関係で1回しか出席出来ませんでした。御紹介頂きました遠藤会員にはすっかり心配をかけてしまいました。例会に欠席した場合はメイクアップ

をすればよいのですが、他クラブに1人で参加するのは大変勇気のいる事でした。9月に入ってはじめて新宿のホテルでのメイクアップをした所、大変暖かく迎えてくれ強く印象に残っております。これがロータリーのよい所であり、ロータリアンのあり方であると肝に銘じました。その後例会出席が習慣づき現在ではメイクアップを含めて毎回出席しております。この例会が1時間という時間内で終わることは、前後の予定もたてられ大変ありがたく思っております。但し、各種委員会等例会以外の時間の集まりは不定期であり、参加するのが正直いまして大変苦痛です。例会の中でインシエーションスピーチは、その人の人柄に触れられ大変楽しみに聞かせてもらっています。この1回にて終わりとなるのは大変残念ですので、各種職業の集まりなので、その人その人の仕事の裏話しや、苦労話しなどを全員の方から聞ける卓話があるともっと仲間への理解、親睦が深まるのではないかと提案します。次にロータリークラブとは世間或いはこの多摩ではどういう見方をしているのだろうか、私自身よく考えてみたいと思います。親睦関係を基にして、仲間を尊敬し合い、各自の良識を持った触れ合いの中から、社会貢献、特に私の仕事上、青少年や子供達、障害者への協力を推し進めるロータリーであってほしいと思い、そんなロータリーに関わっていきたいと思っております。

《津守弘範 会員》

私は創立当初よりロータリーに関わって参りました。私の職業分類は佛教であります。寺の住職として、佛教はいわばロータリーの精神と共通するものが多くあります。寺にはさまざまな方の檀家信徒さんがあり、その中にはさまざまな職業の方もおります。寺はそ

れらの人達の精神的な心の寄り所となっていることは皆様の周知のことと思います。昨年10月の職業奉仕月間に卓話で申し上げた「四つのテスト」に代わるものとして「十善戒」の話を見せていただいた通りです。ロータリーの活動が今日のように大変盛んになったのも、日本人の心の中に大乘佛教の「自利利他」の精神からきた調和を重んじる精神が深く残っているからだと思えます。この自利利他とは自分を利益して、しかも他人の利益を図ることにあります。このことはロータリーの奉仕の精神となって現われていることと同じであると思えます。自利と利他の調和の精神が佛教であります。ロータリー精神がさまざまに言われるのも結局、自利利他の調和ではないかと思えます。更に私の寺は空海(弘法大師)の開いた真言宗でもあります。佛教と言うとお釈迦さまで、人間中心であると一般的に考えます。しかし、この真言宗はお釈迦さま中心から大日如来と言う佛さまに中心を移します。大日如来とは宇宙の中心であるから自然中心となります。人間は小さな自我を離れて宇宙と一体となれば素晴らしい力が生まれ、そして更に小さな自我を離れたら宇宙の本体である大日如来が自分の心に宿り、自分を守ってくれる。人間の世界は小さな自我ゆえにトラブルが絶えない、今日の政治の混乱も実に小さな愚劣な自我ゆえであります。もっと大きな自我に目覚めようと言っています。これとを大我と申します。この自然中心の考えは人と自然の調和であり、ロータリーの環境保全の問題にも関係しております。ロータリーの精神には佛教の精神が深く根づいていることに思いを起し、活動を進めて行きたいと考え、今後も一層の関わり合いを持って行きたいと存じます。

東京多摩グリーンロータリークラブ



会長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子
幹事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景
会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

*例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤ/バンケットルーム

*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30